講義名　公共経済学 (Public Economics) [CVE.D311]　開講時期　3Q 及び 4Q　水曜日 3-4 コマ　単位数　2－0－0　M114 講義室

担当教官　福田 大輔　准教授　坂野 達郎　教授　田邉勝巳　慶應義塾大学商学部教授 (非常勤)

講義の目的　1. 費用や価格等のミクロ経済理論, 2. 交通インフラの特徴, 3. 交通政策やプロジェクトの財務・経済分析手法, 4. 経済的なインセンティブを念頭においた制度設計理論, 5. 企業統治の基礎理論等, 社会資本整備を取り巻く経済学的な基本的考え方を習得する.

講義計画

1.	イントロダクション～土木工学と経済学(福田)	10 月 2 日
2.	消費者行動理論の基礎(福田)	10 月 9 日
3.	生産者行動理論の基礎(福田)	10 月 16 日
4.	市場の理論(福田)	10 月 23 日
5.	市場の失敗とその是正(福田)	10 月 30 日
6.	交通インフラの特徴と評価(田邉)	11 月 6 日
7.	交通インフラの財源と運営(田邉)	11 月 13 日
8.	交通プロジェクトの経済便益評価～基礎理論(福田)	11 月 20 日
9.	交通プロジェクトの経済便益評価～計算演習(福田)	12 月 4 日(中間レポート課題提示)
10.	隠れた行動とモラルハザード(坂野)	12 月 18 日
11.	隠れた情報と逆選択(坂野)	12 月 25 日
12.	企業統治とエージェンシーの理論(坂野)	1 月 8 日
13.	オークション理論(坂野)	1 月 15 日
14.	公共財と選好顕示(坂野)	1 月 22 日(最終レポート課題提示)

成績評価　中間レポート課題(40%), 期末レポート課題(35%), 講義中に行う小テスト(25%)

講義資料　基本的に講義時に配布するが, 事前に WEB に掲載し各自で印刷・持参することを指示する場合もある. 資料は OCW-i にも掲載予定である.

教科書・参考書　(教) 田邉勝己(2017)交通経済のエッセンス, 有斐閣ストゥディア.

(参) 竹内健蔵(2008)交通経済学入門, 有斐閣ブックス. (参) 山内弘隆・竹内健蔵 (2002) 交通経済学, 有斐閣アルマ.
(参) 西村和雄(2006)ミクロ経済学, 東洋経済新報社. (参) クルーグマン・ウェルス(2009)クルーグマンマクロ経済学, 東洋経済新報社.
(参) Campbell, D.E. "Incentives: Motivation and the Economics of Information (2nd Ed.)" Cambridge University Press, 2006.

履修の条件　「土木計画学基礎」,「交通システム工学」を履修済みであることが望ましい.

担当教官から一言　経済学と土木工学の関連性, 及び, 土木事業とその関連政策を経済学的に分析・評価することの意義を理解してもらいたい.

連絡先　E-mail : fukuda@plan.cv.titech.ac.jp / tsakano@soc.titech.ac.jp　(質問は随時 Email で受け付ける.)